

北海道大学10月定例記者会見
2021.10.21

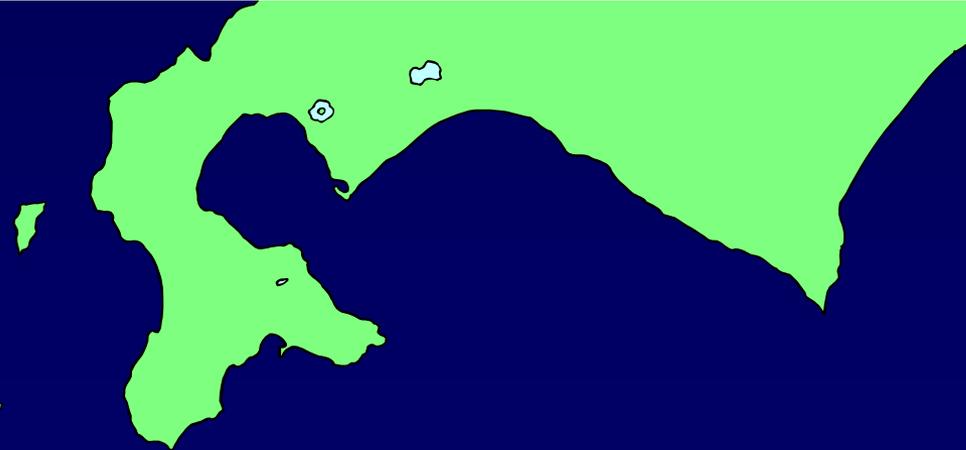
人里に出没するヒグマ

坪田 敏男

北海道大学大学院獣医学研究院
野生動物学教室



生物多様性の維持をめざした保全および 管理に対する学術的貢献



エゾヒグマ *Ursus arctos yesoensis*



写真提供：葛西真輔氏(知床財団)

ヒグマの生活史



春：冬眠明けの季節



夏：栄養状態回復と交尾の季節



秋：飽食の季節



冬：冬眠の季節



アメリカクロクマ(アメリカ合衆国ミネソタ州)

ヒグマはなぜ人里に出没するのか？



人里への出没を促す要因



冬眠前時期の食物不足が主因



人里への出没を促す要因

- 母親の元を離れた幼獣が分散する過程でふらふらと人里に現れる。とくにオスに多い。→未だ生きる術を十分に学んでいないので人の怖さも知らない。
- 繁殖期にオス同士の闘争や攻撃から逃れるために放浪する。比較的劣位の若いオスが出没しやすい。



人里への出没を促す要因



現状と課題

北海道ヒグマ管理計画（平成29～令和3年度）実施中

にもかかわらず...

ヒグマによる人身事故が発生

例 2020年古平町で男性死亡（行方不明）、2021年厚岸町で男性死亡

ヒグマの市街地への出没が増加

例 2019年札幌市南区、2019年江別市、2020年島牧村、2021年札幌市東区

問題は...

ヒグマ管理計画が“絵に描いた餅”になっている

そこで...

- ヒグマ保護管理について今後10年のランドデザインの策定
- ランドデザインを実践できる体制整備・普及啓発
- 北海道（地域振興局）・各市町村・NGO（ヒグマの会等）の連携・協働

これからの10年 ヒグマと向きあうための グランドデザイン

みんなで考えよう **新しい人とヒグマの関係**



日時：2021年 **11**月**6**日(土)
13:30～16:30

会場：北海道大学学術交流会館講堂



北海道札幌市北区北8西5 (北大正門入ってすぐ)
JR「札幌駅」下車徒歩7分
地下鉄南北線「北12条駅」下車徒歩7分

参加費：無料



主催：ヒグマの会

お問い合わせ

ヒグマの会事務局(事務局長 佐藤 喜和)
〒069-8501 北海道江別市文京台緑町582
酪農学園大学農食環境学群環境共生学類野生動物生態学研究室 内
E-mail: higuruma.no.kai.1979@gmail.com

連絡先

坪田敏男（獣医学研究院教授）

e-mail: tsubota@vetmed.hokudai.ac.jp

Tel: 011-706-5101

〒060-0818 札幌市北区北18条西9丁目
北海道大学大学院獣医学研究院
野生動物学教室（S棟1階）